

ポンポン山の春 カタクリ

3/29日 ゆっくりお日様の光と風を感じて歩く。コバノミツバツツジは早くも、赤紫の衣をまとい、川久保方面には山桜がほのかに咲いている。自然歩道脇のタムシバは、散ったのか、あまり見当たらないのが淋しい。



タチツボスミレ



アセビ



シキミ



タムシバ



山桜



コバノミツバツツジ

お目当てはカタクリ自生地。3/29、開花していたのは目視できる範囲で約 240 株。昨年は同じ 29 日には 1 株も咲いていませんでした。やはり、山頂の温度は 6 度も違っていました。

4/2 日は 3 日しかたっていないのに、見ごとでした。お日様の光を浴び、踊り子よろしく振り返っています。かわいいです。

林床は昨年暮れ、山の仲間に朴葉の除去を手伝ってもらったのですっきりしています。山道から花は見えなくて、ネットがあるので、通り過ぎていく人が多く、今回初めて入ってみて、「余りの多さにびっくりしました。」「ポンポン山に来る楽しみが増えました。」と言って下さる方がいて、嬉しい限りです。

1 時間半あまりいて、大きなあり 1 匹確認。1 年目の実生が激減しています。固まって咲いているところにはほとんど実生を見つけないことができませんでした。中央園路の下・北側にはそれなりの実生があり、ほっとしました。また、北西の斜面に株がひろがっています。やはり、東からの日の光が影響しているのでしょう。



まだ、蕾があります。しばらくは楽しめそうですが、天気次第でしょう。(S,Fuzi)